

<全体方針>

本市の地方創生を推進し、人口減少を抑制していくため、商工業や農林水産業など産業を振興する施策を推進するとともに、雇用環境の充実や、子どもの頃から丸亀市に愛着を持ち、地元で働くことにつながる取り組みを進める。

市民の皆様が心から豊かさを実感し、本市の魅力を高めるため、文化芸術の振興や観光・交流促進を推進するとともに、新市民会館の整備についても計画に基づき着実に進める。

<課ごとの指導方針>

産業観光課

第二次丸亀市産業振興計画（2018～2022年度）に基づき、産業振興支援補助金をはじめとする中小企業振興のための各種施策を実施するとともに、創業や企業誘致・企業の設備投資に対する支援を行うほか、部内各課と連携し、地域特産品の開発や販路拡大の取り組みを支援する。また、これまでの成果や課題を踏まえつつ、丸亀市産業振興条例に基づき「第3次丸亀市産業振興計画」を新たに策定し、産業振興を推進する。雇用促進のための諸施策については、生徒に地元企業の魅力を伝える産業教育や地元出身の大学生にインターンシップの事業を実施するなど、将来の担い手（労働者）の確保に努めるほか、企業紹介サイトを充実させ、市内企業の魅力をアピールする。さらに、企業訪問等を通じて得られた課題やニーズを産業振興施策に反映し、長期化するコロナウイルスの影響を受ける事業者の支援策を検討するなど、事業運営がしやすい魅力あるまちづくりを進める。

本市が誇る自然・歴史・文化・食などを背景に、丸亀城を中心とした回遊型・滞在型観光を推進する。そのために、令和3年3月に策定した「丸亀市観光戦略プラン」に沿った施策を展開し、毎年度末に設定したKPIの検証と施策の見直しを行う。また、丸亀版DMOを中心に地域の稼ぐ力を引き出す観光地域づくりや国内旅行の需要創造に向けた体験型・学習型観光メニューの造成・プロモーションに積極的に取り組む。

また、関係各課、関係機関、民間団体等と連携し、丸亀うちわや骨付鳥等の丸亀ブランド（地域資源）の魅力を広くPRする。

文化課

令和3年度に策定した「文化芸術基本計画」による施策を推進するほか、猪熊玄一郎現代美術館での「運営ビジョン」に沿った運営に指定管理者と連携して取り組むことなどにより、文化施設の利用を促進するとともに、身近な場所で文化芸術に触れることのできる機会の提供を進める。

瀬戸内国際芸術祭2022については、関係団体等との連携のもと、新型コロナウイルス感染症対策をはじめとする準備を着実にを行い、安全かつ円滑な開催に向けて取り組む。また、市内各地においても芸術祭の波及効果が得られる取組みを実施する。

新市民会館「(仮称) みんなの劇場」については、年度内の建築工事着工を目指し、関係団体等の意見も聞きながら整備計画に基づく実施設計を策定するとともに、

管理運営計画の策定に取り組む。

農林水産課

農業については、国・県その他各種団体との連携により、多様な担い手の育成・確保や集落営農の組織化・法人化、6次産業化の推進を図るとともに、新たな丸亀ブランド品の開発に努める。また、土地改良事業による農業基盤整備の充実や防災対策を図るとともに、新たな農業振興地域整備計画に基づいた地域農業の振興に努める。

地籍調査については、計画的に事業を推進し、土地をめぐる行政活動や経済活動の基礎データの整備に取り組む。

農業委員会事務局

農林水産課その他関係機関との連携により、農地の集積、遊休農地の発生防止・解消など農地利用の最適化に努める。

令和4年度 各課の重点的取組					最終評価	
課名 (連携が必要な部署)	重点課題	課題解決に向けた 具体的方策	成果目標	総合計画	評価 (進捗結果)	所見
産業観光課	★第三次丸亀市産業振興計画の策定	●産業振興推進会議において、第三次丸亀市産業振興計画の検討、策定	○産業振興推進会議の開催 5回 ○第三次丸亀市産業振興計画の策定	—	C	産業振興推進会議の開催 6回
	★産業振興の支援	●企業訪問専門員や職員による積極的な企業訪問を通じた企業ニーズ把握と市・国・県などの支援施策のPR ●中小企業支援対策の更なる充実（産業振興支援補助金、各種融資の実施及び保証料、利子の補給）	○企業訪問 300社 ○中小企業支援ガイドブック作成 ○各種制度内容の見直し	— 15-②-1	C	企業訪問 233件 2022年度版ガイドブックを作成し、配布・周知 産業振興支援補助金はメニューを見直して実施 申請件数 134件

		<ul style="list-style-type: none"> ●無料経営相談「中西讃マルタス常設サテライト」を事業者が効果的に利用できるよう、公益財団法人 かがわ産業支援財団との連携強化 ●企業紹介サイトの掲載企業数増による充実 ●企業紹介サイトの見直し 	<p>○中西讃マルタス常設サテライト 相談件数 200 件</p> <p>掲載企業数 80 社</p>	<p>15-②-1</p> <p>15-①-1</p>		<p>相談件数 844 件 (他市町の相談含む)</p> <p>掲載企業数 72 社</p>
	★事業者向け新型コロナウイルス対策支援	●新型コロナウイルス感染症に係る事業者の状況やニーズの把握、支援策の検討	○事業者の状況やニーズを把握、各種支援制度の情報提供	—	C	<p>公共交通等事業者支援給付金 申請件数 8 件</p> <p>貨物運送事業者支援給付金 申請件数 111 件</p> <p>宿泊事業者支援給付金 申請件数 25 件</p>
	★創業・第二創業の支援 【重点プロジェクト】	<ul style="list-style-type: none"> ●創業支援等事業計画に基づく商工会議所等と連携した創業支援相談などによる創業支援の強化 ●創業塾を開催し、地域における創業者を支援 	<p>○創業相談 30 件</p> <p>○創業件数 10 件</p> <p>○年4回開催</p> <p>○参加者数15人</p>	No.38	B	<p>創業相談件数 99 件 (累計)</p> <p>創業相談人数 34 人</p> <p>相談後創業件数 17 件</p> <p>創業塾 参加申込者 26 人</p>

		●空き店舗、空きオフィス等活用促進補助金による創業支援及び中心市街地の活性化支援	○空き店舗、空きオフィス等活用促進補助金 7件 ○空き店舗率 31.0%	No.38		申請件数5件 社会福祉業(通町)、飲食業(通町)、リサイクルショップ(通町)、小売業(通町)、飲食業(本町) 空き店舗率 29.7%
★企業立地の促進 【重点プロジェクト】	●県及び関係各課と連携した企業立地促進奨励制度の積極的な活用促進 ●設備投資に係る固定資産税特例制度の積極的な活用促進	○交付予定件数5件	No.35	C	交付予定件数 5件 先端設備等導入計画の認定数18件	
★インターンシップの充実 【重点プロジェクト】	●定住自立圏域での首都圏・関西圏大学生を対象に、インターンシップ事業を実施し、雇用確保と本市への移住促進	○受入事業所 30社 参加学生数 50人 採用内定数 5人	No.34	D	受入事業所31社(実施18社) 参加学生数33人 採用内定数0人	
★産業教育の充実 【重点プロジェクト】	●地元への愛着を持つ人材を育て、将来的に地元で就労する定住者を増やすための産業教育を実施	○生徒に地元企業の魅力や特徴を紹介する地元企業PR事業の実施 実施中学校 市内全校	No.33	C	実施校5校 9月9日午前 東中学校 30社 9月9日午後 南中学校 35社 9月13日午前	

						綾歌中学校 コロナで中止 9月13日午後 飯山中学校 25社 11月8日 午後 西中学校・本島中学校 32社
	★地域製品の販路拡大支援 【重点プロジェクト】	●地域特産品の開発や販路拡大の取り組みを支援	○産業振興支援補助金（地域製品の販路拡大支援関連メニュー） 補助件数 4件	No.36	D	産業振興支援補助金（地域製品の販路拡大支援関連メニュー）申請件数 2件
	★地場・伝統産業の振興 【重点プロジェクト】	●連合会と連携した丸亀うちわのPR ●後継者育成	○うちわの生産本数 年間 1.6億本	No.37	C	うちわの生産本数（未確定） 丸亀うちわ後継者育成講座開催 11月8日～12月2日実施
産業観光課	★丸亀版DMOの推進 【重点プロジェクト】	●観光データの収集 ●観光戦略の進行管理とPDCAサイクル	○観光客動向調査 年4回 ○懇談会・PT会議の推進 ○旅行消費額 宿泊なし 3,557円 宿泊あり 17,324円 ○来訪者満足度 33.5% ○リピーター率 40.4%	No.39	C	観光客動向調査 5、8、11、1月実施 (200人) 丸亀版DMO懇談会 ・城泊について 7/7 ・広島での取組 12/7 PT会議 ・城泊 11/10、12/7、1/25 ・GSTC 10/24、11/16、12/20 宿泊なし 3,845円 宿泊あり 17,276円 来訪者満足度 61.0% リピーター率 33.0%

	★回遊型・滞在型観光、広域観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●丸亀城をはじめ固有の地域資源等を活用した回遊型・滞在型、広域観光の推進 ●団体旅行、コンベンション、合宿に対する助成制度の利用促進 ●物産展、観光キャラバン等によるシティセールスの推進 ●城泊実施に向けた滞在型観光地域づくりの推進 	○年間入込客数 330万人 ○年間宿泊数 40万人 ○市民の合意形成を図るためセミナー等開催	16-①-1 16-②-1	D	入込客数 348.7万人 宿泊者数 47.4万人 歴史的資源を活用した観光まちづくりセミナー開催 2/23
産業観光課	★インバウンド対策の推進	●海外でのシティプロモーション事業の実施 (WEBを使った展開)	○香港、台湾、タイ (県主催の商談会への参加)	16-④-1	C	県主催の台湾商談会への参加 2/19~22
	★丸亀城に特化した観光振興	●丸亀城お笑い人力車芸人を活用したおもてなし事業	○天守入場者数 13万人 ○通年	16-①-1	D	入場者数 116,889人 人力車乗車人数 800人
	★多様な連携機会の充実 ★地域産品の販路拡充支援 【重点プロジェクト】	●地域イベントや県外での物産展等の開催及び地域資源PR活動	○県内外におけるPR活動 7回 (うち県内他市町との共同実施1回)	16-⑤-1 No.36	B	桜まつり (4/1~14)、チャコの日 (4/9)、里山まつり (4/22)、お城まつり (5/3~4) せとうち島旅フェス (5/14~15)、旬菜館 (6/21~29)、東温ほっちょ市 (7/23)、大阪お城フェス

						(8/12～14)、ふるさと全国お城サミット(9/3～4) キャッスルロード(9/10～11/23)、小浜食の祭り(10/15～16)、ご当地キャ博伊箱根(10/22～23)、あやうたふるさとまつり(11/5～6)、トモニ市場(11/19～20)、ウィンターイルミネーション点灯式(12/16)、新春フェスタ(1/9)、にぎやか村(2/4～5)、由利本荘やしま冬まつり(2/25)、うどんマラニック(3/4～5)
文化課	<p>★文化施設を拠点とした文化芸術の振興</p> <p>【重点プロジェクト】</p>	<p>●優れた現代美術等の鑑賞機会の提供</p> <p>●美術界の発展と次世代を切り開く作家の支援を目的とした全国規模の公募展「MIMOCA EYE」の実施</p> <p>●他分野と連携したワークショップなど、多様</p>	<p>○美術館の利用者数</p> <p>73,000人</p> <p>※R2年度72,859人</p>	No.54	B	<p>・美術館では、常設展や企画展を通じて優れた現代美術等の鑑賞機会を提供している。</p> <p>・公募展「MIMOCA EYE」の開催に向け作品を公募し、入選作品17点を選定した。入選作品は、11月20日から2月26日まで第1回MIMOCA EYE 展覧会にて展示し、6,397人が来館した。</p> <p>・ものづくりをテーマにしたワークショップや瀬戸フィルハ</p>

		<p>な教育普及事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●子どもとの来館で親の入館料を無料とする「親子でMIMOCAの日」の実施 ●美術館のカフェ事業者との連携によるゲートプラザを活用した事業の実施 ●優れた舞台芸術等の鑑賞機会提供 ●市民、市民団体の文化芸術活動への積極的な 	<p>○綾歌総合文化会館の利用者数</p> <p>130,000人</p> <p>※R1 131,878人</p>		<p>一モニー交響楽団を講師としたオリジナル楽器を制作するワークショップなど 35 回を行い、650 名の参加があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「親子でMIMOCAの日」として常設展、企画展にて2日間ずつ開催し子ども 217 名、同伴者 239 名が参加した。 ・ゲートプラザを活用した事業を瀬戸内国際芸術祭記念事業のオープニングセレモニーに合わせ、9月24日に開催。子どもを対象としたマルシェとして開催し、約 1500 人が来場した。 ・綾歌総合文化会館では、優れた舞台芸術等の鑑賞機会を提供するために、鑑賞型事業を実施している。(27回) ・市民、市民団体による文化芸術活動発表の場として、丸亀市
--	--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------	--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

		支援				文化協会及び丸亀市文化振興事業協議会とともに、「芸能フェスタ丸亀2022 まるっとえにしいち」を開催した。また、丸亀シティフィルハーモニックオーケストラや丸亀少年少女合唱団のコンサート、市民が主役の舞台芸術発表・冬の祭典などを開催した。
文化課	★多様な主体と連携した文化芸術の振興 【重点プロジェクト】	●指定管理者（福祉事業団、ミモカ美術振興財団）や文化振興事業協議会等と連携し、コミュニティや小学校、幼稚園等への出前鑑賞教室等を実施する。	○アウトリーチ事業への参加者数 5,000人 ※綾歌総合文化会館 ・芸術鑑賞教室 R1：3,747人（16回） ・地域出前文化教室 R1：1,011人（8回） ※美術館 ・どこでもMIMOCA H30：551人（20回） ※文化振興事業協議会 ・芸術体験プログラム R1：321人（4回）	No55	B	・綾歌総合文化会館では（一財）地域創造の助成による公共ホール音楽活性化事業（おんかつ）や、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業などを活用し、幼稚園・保育所、小学校、コミュニティへのアウトリーチ事業を実施した。（37回 3,050人） 美術館では、商店街を遊べるアート空間として活用した、すごろくプロジェクトを実施した。（参加者 1,808人） 文化振興事業協議会では、東小川児童センター、マルタス、市役所ロビーで芸術体験プログ

		<p>●上記に関して指定管理者や文化振興事業協議会等、それぞれがアプローチする対象や訪問先について整理を行う。</p> <p>●若手芸術家支援事業の採択者や HOT サンドルプロジェクトの卒島生との関係を活用した公演やワークショップ等の実施</p>			<p>ラムとしてアウトリーチ事業を9回（音楽6回・448人、即興演劇1回・14人、絵画等展示2回・鑑賞者未集計）実施した。</p> <p>・指定管理者や文化振興事業協議会それぞれがアプローチする対象や事業内容などについて、協議、検討し、次年度以降の事業計画に反映する予定である。</p> <p>・文化振興事業協議会と連携し、若手芸術家支援事業の採択者による庁舎ロビーでの作品展示やコンサートを6回（音楽5回、絵画展示1回）実施した。 （芸術体験プログラムを含む） また、瀬戸内国際芸術祭関連事業として、秋会期にあわせて広島他に移住したHOT サンドルプロジェクトの卒島生を中心に「瀬戸内 HOT 広島プロジェクト」を企画し、アート作品の展示や絵画鑑賞会を実施した。</p>
--	--	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--	--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

						(鑑賞者 700 人)
文化課	★瀬戸内国際芸術祭との連携 【重点プロジェクト】	●本島実行委員会との連携による受入環境の整備 ●県実行委員会との連携によるコロナ対策の実施 ●定住自立圏域から港や美術館等を結ぶ臨時バスの運行 ●MIMOCA との連携による商店街を活用したアートイベントの開催	○本島会場来場者数 20,000 人 ※2019 年 来場者 27,469 人 うち国外 23.6% ≒国内 20,986 人	No.56	C	・本島案内所(漁協直売所)の設置、本島パークセンターの修繕・改修、港周辺、作品見学路などの草刈り、看板・横断幕・幟の設置などを行った。 ・コロナ対策として、乗船前の検温、体調確認、リストバンドの配布・着用を実施した。島内で症状が出た場合には他の乗船者と分けてチャーター船で本土側まで搬送する体制をとった。会期中、来場者の発症はなかった。 ・秋会期中の土日祝日の 14 日間、アート巡回バスとして運行した。利用者数:85 人 ・通町商店街に巨大すごろくを設置し、商店街の方の協力の下ですごろく大会を開催した。瀬戸芸来場者や家族連れを中心に 10 日間で 1,808 人が参加

		<ul style="list-style-type: none"> ●マルタスの芸術祭関連事業との連携 ●日本遺産「石の島」、丸亀城（石垣）と関連付けての作品展開（石の活用）の推進 				<ul style="list-style-type: none"> ・芸術祭作家2名のサテライト会場となっているほか、MIMOCA企画展の作家の作品も展示した。芸術祭作家のトークイベントも開催し、18人が参加した。 ・石垣の石材を用いて丸亀城（石垣）を描いた作品ほか、広島のをを使った作品や採石場をモチーフにした作品を制作いただいた。 ・来場者数は、17,679人で、概ね目標を達成できた。外国人客を中心とした来訪者の回復や更なる本土側への誘客が今後の課題である。
文化課	★新市民会館の整備 【重点プロジェクト】	<ul style="list-style-type: none"> ●実施設計の策定、工事の発注・着手 ●管理運営計画の策定 ●設置条例の検討 	○新市民会館の供用開始 令和7年4月開館予定	No.57	C	<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計を完了し、「丸亀市（仮称）みんなの劇場新築工事」他5件について、令和5年3月に工事請負契約を締結した。工期を30ヶ月に延長したことにより、令和8年3月開館予定 ・管理運営計画を策定するとともに、「丸亀市民会館条例」を制定

		<ul style="list-style-type: none"> ●課題解決型実践事業の実施 ●文化芸術推進サポーター養成講座の開催 ●アーティスト・コーディネーター養成講座の開催 				<p>した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題解決型実践事業は 5 回、文化芸術推進サポーター養成講座は 23 回、アーティスト・コーディネーター養成講座は 6 回それぞれ実施した。
農林水産課	<p>★地籍調査事業の推進 【重点プロジェクト】</p>	<p>●丸亀市の全体面積 111.83km²のうち、旧丸亀市地区64.65 km²、総筆数 約136,000筆について、H23から23年間（島嶼部6年間を除く）で地籍調査を実施する</p>	<p>○地籍調査の進捗率 58.6%</p> <p>○一筆地調査の実施 【地域】 飯野町東分の一部 風袋町、葭町、米屋町、松屋町、魚屋町、宗古町、通町、富屋町 面積：1.21 k m² 筆数：3,040筆</p>	No.19	D	<p>一筆地調査の実施【地域】 飯野町東分の一部 風袋町、葭町、米屋町、松屋町、魚屋町、宗古町 国からの負担金減少等により、調査地区は計画より減少したが、調査は 2 班体制で実施した。</p>
	<p>★ため池の防災対策の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●防災対策が必要な老朽化した中規模ため池について改修工事を実施する ●防災重点農業用ため池の危険度を調査し、 	<p>○ため池改修工事 3箇所</p> <p>○劣化状況調査 30箇所</p>	—	C	<p>3箇所実施済 (2箇所完了、1箇所は次年度も実施)</p> <p>35箇所調査実施済</p>

		今後の改修等工事計画に反映する				
農林水産課	★浸水被害対策の推進 【重点プロジェクト】	●浸水被害があった水路について効果的な工法を調査し、対応が有効と判断される水路について、対策工事を実施	○排水対策工事 2箇所	No.26	B	6箇所実施済または完了見込
	★多面的機能支払交付金事業の促進	●国、県と連携し、農地の保全及び農業用施設の長寿命化に取り組む地域活動等を支援する	○実施組織数、農地面積の維持 13組織 2,000ha	14-①-1	C	13組織、2,032ha
	★生産基盤の強化 【重点プロジェクト】	●担い手農業者への農地集積により、農地の有効活用を図る ●土地改良施設の整備にかかる事業費を補助し、農村環境の適切な維持管理を推進する ●漁協の意向に沿いながら、高価格で海域での移動が少ないなど、放流効果の高い魚種の	○水田の利用集積率 25.0% ○土地改良事業の実施件数 市単独補助事業 46件 ○重要稚仔放流量 クルマエビ 175千尾 ヒラメ 12千尾 ベラ 150kg	No.30 No.30 No.30	C	水田の利用集積率 24.0% 52件実施済または完了見込 重要稚仔放流事業 クルマエビ 150千尾 ヒラメ 12千尾 ベラ 370kg

		選定				
農林水産課	★インターンシップの充実 【重点プロジェクト】	●就農相談によるインターン希望者の掘り起こし ●関係機関の各種制度の周知 ●インターン生受入農家の掘り起こし	○相談回数 5回/年 ○制度の周知 随時 ○受入農家 1戸	No.31	C	就農相談を5回行い、インターン制度について周知した。また、関係機関や先進農家との連絡会等の際にも制度説明を行い、周知した。受入農家の掘り起こしに継続して取り組む。
	★後継者の育成・確保 【重点プロジェクト】	●関係機関と連携した担い手の確保及び経営支援	○農地保有適格法人数 1法人 ○集落座談会 6回 ○認定農業者数 145人 ○新規就農者の認定 4人 ○簿記記帳講習会 29回/年	No.31	C	農地保有適格法人の新規設立はなく、また集落座談会は、新型コロナウイルス感染症拡大により未開催となった。今後も引き続き、集落営農の組織化・法人化について継続的な支援を行う。 認定農業者は 143 人となり、新規就農者については、新たに 4 名の認定を行った。 簿記記帳会は26回開催し、農家の経営状況の把握に努めている。
農林水産課	★有害鳥獣対策の強化	●有害鳥獣捕獲従事者の増員を図り、積極的な個体数調整を図る	○有害鳥獣捕獲従事者の増員 3名 ○有害鳥獣の捕獲頭数 250頭	—	C	有害鳥獣捕獲従事者の増員については 1名増加した。イノシシの捕獲頭数については 446頭 (R5. 3. 24現在) を捕獲している。

		●イノシシ等による有害鳥獣被害は、市町境をまたいで広域化することもあるため、隣接する市町間の緊急連絡体制の整備等、被害軽減に努める	○連絡調整会の開催 1回			県内市町、及び関係機関との連絡調整会はコロナの影響で開催できていない。
	★6次産業化の支援 【重点プロジェクト】	●6次産業化マッチングバンクを活用した生産者と事業者、消費者のマッチング機会の創出及び新たな丸亀ブランド品となる新商品の開発 ●6次産業化に関する学習会等を開催	○6次産業化商品開発 件数 3件 ○規格外農産物の販売情報の充実 ○学習会の開催 1回	No.32 No.36	C	マッチングバンクを活用したマッチングについては、商談を経て新商品の開発を2件行っている。また、ビジネスマッチング案件が3件ある。 規格外農産物の販売情報については、3件の登録申込がありホームページへ掲載した。今後も登録者募集について推進していきたい。 県農業改良普及センターと連携した学習会は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により開催未定となった。
農林水産課	★地域産品の販路拡大支援 【重点プロジェクト】	●丸亀ブランドとして確立でき得る地場農水産物について、関係機関等と連携したPR活	○物産展やイベント等の開催 2回	No.32 No.36	C	地場農産物のPR活動として物産展等を2回実施した。

		<p>動など販路拡大に努める</p> <p>●地場農水産物を活用した食育の取り組み</p>	<p>○料理教室等の開催 2回</p>			<p>地元食材を使った料理教室を3回開催した。</p>
<p>農業委員会事務局</p>	<p>農地利用最適化の推進</p>	<p>●農地全筆調査により遊休農地の把握、利用意向調査の実施</p> <p>●香川県農地機構を活用した農地の集積</p>	<p>○遊休農地解消：3ha</p>	<p>—</p>	<p>C</p>	<p>・農地利用状況調査の結果、前年比 19ha の遊休農地の解消があり、目標値の 3ha を超えた。</p> <p>また、農地利用意向調査の対象を拡大し、新規だけでなく、これまでに対応できていない方にも調査を行い指導した。</p> <p>今後も農地パトロールや利用意向調査、農家相談などにより、農地の現況を把握し、農地機構など関係機関との連携を図りながら農地利用の最適化を図る。</p>